

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 ・ 心理学 コース

一般入試、外国人留学生入試
専門試験(外国語を含む)

試 験 日 : 2024 年 9 月 8 日(日)

試 験 時 間 : 9 時 30 分 ～ 11 時 30 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 問題1と問題2には、それぞれ別の答案用紙を用いること。
3. 答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。
例:問題1
4. 問題1、問題2にはそれぞれ複数の問が含まれる。解答する問の順序は任意だが、問の番号・記号を明記してから解答を記載すること。 例: (1)問1
5. 答案用紙の表面に書き切れない場合、裏面も解答欄として用いてよい。

問題 1

(1) 次の英文について問 1 と問 2 に日本語で答えなさい。なお、右肩に数字を付した語句については、本文の後に注があります。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典：Theobald, M. et al. (2022). Test anxiety does not predict exam performance when knowledge is controlled for: Strong evidence against the interference hypothesis of test anxiety. *Psychological Science*, 33(12), 2073-2083. より一部改変)

問1 下線部 (a) のように言える理由を具体的に述べなさい。(25 点)

問2 下線部 (b) について具体的に説明しなさい。(25 点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典 : Maymon, C. N. et al. (2024). The presence of fear: How subjective fear, not physiological changes, shapes the experience of presence. *Journal of Experimental Psychology: General*, 153(6), 1500-1516.)

問題 2

(1) 次の英文について問 1 ～問 4 に日本語で答えなさい。なお、右肩に数字を付した語句については、本文の後に注があります。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(出典：Levine, L. E. et al. (2021). *Child development: An active learning approach, Fourth edition*. SAGE Publications. より一部改変)

- 問1 本文中で取り上げられている西アフリカにおける研究では、どのように自然実験の手法を利用しているか説明しなさい。(15 点)
- 問2 この研究の方法、結果、結論について説明しなさい。(15 点)
- 問3 この研究で、研究対象以外の変数について、具体的にどのような対処が行われているか説明しなさい。(15 点)
- 問4 自然実験にはどのような欠点があると述べられているか説明しなさい。(15 点)

(2) 次の英文の全文を日本語に訳しなさい。なお、直訳すると意味が通じにくい部分は、意訳してもかまいません。(40 点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典 : Lakens, D. (2013). Calculating and reporting effect sizes to facilitate cumulative science: A practical primer for *t*-tests and ANOVAs. *Frontiers in Psychology*, 4, 863.)

2025 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
人間発達科学専攻 ・ 応用社会学コース
（一般および外国人留学生入試）
専 門 試 験 （ 外 国 語 を 含 む ）

試 験 日 :2024 年 9 月 8 日(日)

試験時間: 9:30 ～ 12:00

【注意事項】

解答は, 問1, 問2, 問3それぞれ別々の答案用紙に記入すること。

2025 年度 大学院 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) 人間発達科学専攻
応用社会学コース 9 月入試 専門試験(外国語を含む) 一般および外国人留学生入試

問1. 次の英文を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(出典: Andres, Lesley, 2022, *Theories of the Sociology of Higher-Education Access and Participation*,
James E. Côté and Sarah Pickard eds., *Routledge Handbook of the Sociology of Higher Education*,
2nd Edition, London: Routledge, pp. 149-159 の中の pp. 149-150 を抜粋して一部改変.)

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) functionalist perspective において、教育制度はどのような役割を果たすものと考えられるか。本文の記述に即して説明しなさい。
- (3) 本文で説明されている functionalist perspective について、その限界を社会学的に論じなさい。

問2. 次の A, B の 2 問のうち, いずれか 1 問を選択して解答しなさい。(最初に A, B のいずれを選択したかを明記しなさい。)

A. オリンピック(オリンピック・パラリンピック競技大会)について, メディア, 資本主義, ナショナリズムの観点から論じなさい。その際, 3 つの観点すべてについて触れること。

B. 近代化について, 前近代社会からの移行プロセスとして社会学的に論じなさい。

問3. 次の①～⑥の人名や概念のうち 4 つを選んで, それぞれ項目の番号を明記してから 3 行以上で説明しなさい。

- ① 表層的な(見せかけの, 疑似的な)相関(spurious correlation)
- ② 参与観察(participant observation)
- ③ 属性原理と業績原理(ascription / achievement)
- ④ アンソニー・ギデنز(Anthony Giddens)
- ⑤ 隠れたカリキュラム(hidden curriculum)
- ⑥ 集合的記憶(collective memory, La mémoire collective)

2025年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

人間発達科学 専攻 ・ 保育・児童学 コース

一般・社会人特別・推薦・外国人留学生 入試
(専 門 試 験)

試 験 日 : 2024 年 9 月 8日 (日)

試 験 時 間 : 9時 30分 ~ 12時 00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 問題毎に答案用紙1枚を使用し、問題番号を明記すること。
ただし、問題内に指示がある場合は、それに従うこと。

問題 1

次の英文を日本語に訳しなさい。なお、人名は英文表記のままでも良い。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

出典： Sutterby, J. A. (2019) Play Spaces, Indoors and Out. In Smith, P. K. & Roopnarine, J. L. (Eds.) *The Cambridge Handbook of Play: Developmental and Disciplinary Perspectives*. Cambridge University Press.

問題2

次のページからの資料1（1 ページ目から 3 ページ目までの 3 枚）の文章を読み、以下の（1）（2）に答えなさい。

- （1） ヒトの「ない」ものをイメージする力はなぜ身につけられたのだろうか。このことを筆者はどのように説明しているか、600 字程度で要約しなさい。
- （2） 資料1の本文中に出てくる「認知的流動性」とは何か、本文に即して 200 字程度で説明しなさい。

出典：齋藤亜矢（2014）『ヒトはなぜ絵を描くのか—芸術認知科学への招待』岩波書店
（一部改変）

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

問題3

倉橋惣三の保育思想について書かれた次のページからの資料2(1ページ目から3ページ目までの3枚)を読み、以下の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) この文章の著者は、倉橋惣三の「誘導保育論」とはどのようなものだと捉えているか、250字程度で説明しなさい。
- (2) 傍線部(a)について、著者は倉橋惣三の保育思想と「理論」とはどのような関係にあると捉えているか、250字程度で説明しなさい。
- (3) 傍線部(b)について、著者は倉橋惣三の保育論の独自性と普遍性をそれぞれどのようなものと捉えているか、250字程度で説明しなさい。

出典：津守真(1977)「倉橋惣三の保育思想」日本保育学会編『保育学の進歩』フレーベル館(一部改変)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。